

事業所名

鳥飼東学童デイホーム遊園

支援プログラム

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念		～子どもの今と未来を豊かに～ 子ども時代の体験や心の持ち方は、人生の礎となります。私たちは、やさしさと頑張る気持ちを伝えることで、子どもたちの今と未来を豊かにしたいと考えます。社会に根差した、たくましい子に育てます。	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・大切な子どもの時期をあたたかく見守り、のびのび育てる ・先生、友だち、自然や伝統行事との豊かなふれあいを持つ ・子どもたちがありのままの姿を出せる環境づくりを大切にする 	
営業時間		平日10:45～19:30 土曜日8:45～17:30 長期休暇8:45～18:45	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日常生活や社会生活を円滑に営めるように、それぞれの子どもの適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。 また、子どもの障がい特性に配慮し、子どもにとって分かりやすく時間や空間を構造化することで安心できる環境を整える。 食事の際のマナーや姿勢、箸の持ち方等を作業療法士が専門的な視点から支援を行う。 クッキング活動・整容・準備・片付けに関するプログラムを実施する。	
	運動・感覚	子どもが保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように遊び等を通して支援する。また、作業療法士が中心となって支援員同士で子どもの身体の使い方や補助の仕方など支援に関するアイデアを共有しつつ実践に当たる。 公園活動・筋トレ・ダンス等の粗大運動に関するプログラムや感触あそび・手先指先を使った微細運動のプログラムを実施する。	
	認知・行動	子どもの認知の特性を踏まえて、入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生ずる困りごとを予防し、適切な行動へ転換できるように支援する。 空間・時間・数の概念などの認知発達を促す（スケジュールや時間の視覚化、買い物体験等）環境設定やプログラムを行う。	
	言語 コミュニケーション	SSTやロールプレイ等のコミュニケーションの取り方についてのプログラムを行う。 こども会議やディベート対決等の小集団のあそびを通して、自身の考えを発表したり、相手の意見を聞く等の機会を設ける。その際に、コミュニケーション見えるか表等の支援ツールを使用し、子ども達と一緒に振り返りを行う。	
	人間関係 社会性	身近な人との信頼関係を築き、遊びや活動の幅を広げていけるように支援する。周囲や相手の状況を把握し、自分自身のできることやできないことを理解し気持ちのコントロールができるように支援する。 小集団・集団のあそびを通して人との関わり方や接し方を学ぶ機会を設ける。 デイカフェ・お出かけイベント・他事業所交流等を通して、社会体験や地域交流のプログラムを行う。	
家族支援		子どもの障がい特性に配慮し、安定して子どもが日常生活を送れるように適切に助言をしたり、アタッチメント形成が行えるようにしていく。	移行支援 地域での活動ができるように学校等と情報共有や支援方針の確認を図り支援を行っていく。円滑に地域への活動に移行できるように進めていく。
地域支援・地域連携		学校、子育て支援機関、医療機関、地域行政機関との連携を深めるなど子どもが地域全体で適切な支援を受けられるようにしていく。	職員の質の向上 支援に関する定期的な専門的研修やOJT研修を進めて支援の質を担保していく。また、定期的なケースカンファレンスを実施して職員のスーパーヴァイジー機会も保証していく。
主な行事等		クッキング、BBQ、夏祭り、お出かけ、買い物、季節の行事（節分、クリスマス）避難訓練等	